

すき♡スキ♡大好き

No.59

低学年例会 2月11日(祝)

15:00開演 メルカつきまちホール



高学年例会 2月18日(土)

18:30開演 平和会館ホール



ながさき子ども劇場 広報部

〒850-0057 長崎市大黒町4-26 北村第一ビル302号

Tel: 095-825-0533 Fax: 095-825-6151

E-mail: sukisuki@bird.ocn.ne.jp

<http://www.na-kogeki.sakuraweb.com/>

発行 2023年2月11日

巻頭エッセイ

1. 巻頭エッセイ
2. 子どもとげき「ガクモンの神様」事前
3. 例会 ヘンてこげきじょう
4. " ガクモンの神様
5. クリスマス会
6. 青年出前サンタ
7. オズの魔法使い 感想交流会
8. 乳幼児「クッキー」
9. 絵本のとびら
10. GW.C、編集後記



例会って、良いよね～

中村 遼太（青年 OB）

産まれた時から劇場人であった私が、ふとながさき子ども劇場での思い出を振り返ると、キャンプに子どもまつり、なにかやろうよ！、ナイトハイクなど、数々の楽しかった記憶が巡る中で、私にとっては『例会』もその内の一つです。私が子どもの頃は、中央・北・東と3つの劇場に分かれて例会が行われていて、母親が事務局という事もあり、中村兄弟は劇場の垣根を超えて大半の例会に連れて行って貰えました（笑）。

子どもの頃の私にとって例会は『みんなに会える口実』であり、例会に行き各劇場の青年たちに遊んで貰える事が1番の楽しみでした。さらに例会の後にはM家やF家にお泊りするチャンスがあった為、兄弟で結託して親に懇願したものです。

青年になってからは、今度は私が子どもたちと遊んでいました。また会場の片付けを終えて演者さんとも交流があり、時には同期の青年たちも含め打ち上げに参加させてもらうこともありました。またこの頃には例会前の事前やワークショップに参加する機会も増え、自分にとっての例会はいつしか『みんなに会える口実』から『行って観てみたい例会』になっていました。終幕後、みんながエントランスに一堂に会する時「よかったね～」「面白かった！」と各所で感想の声が渦を巻き、段々とガヤガヤし始める、あの雰囲気も好きになっていました。

最後に、昨年の55周年特別例会『ピアノカの魔術師』現地に行きたかった～（笑）
広島からYouTubeで久しぶりに観させていただきましたが、やっぱり例会って良いなあ～と改めて思いました。

高学年例会「ガクモンの神様」(劇団仲間) 事前 脚本・演出 西上寛樹さん ワークショップ

2023年1月9日(祝・月) 市立図書館・新興善メモリアルホール

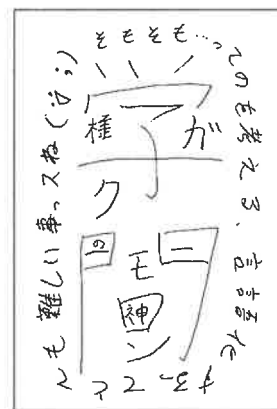


【第1部】13:00~15:00/対象：小6~青年
〈参加〉中1①、高1②、高2①、青年② 計⑥名

子どももスマホを手元に持つ時代。「ガクモンの神様」の題材でもあるYouTubeやSNSにハマる子どもたちを心配する親たちの声もよく聞きます。そんな現代の子どもたちは日頃の生活の中でどんなことを感じたり考えたりしているのか。今回、脚本・演出を手がけた西上さんに〈対話によるワークショップ〉をお願いしました。

カードに書いていく形式で、一人一人自己紹介を兼ねて「好きなマンガ・嫌いなマンガ」「好きなユーチューバー・嫌いなユーチューバー」を紹介し合って盛り上がり、その後「好きな教科・嫌いな教科」も書きました。そこから「学校は必要ですか?」「勉強は楽しいですか?」「勉強はいつまでするの?」など徐々に「ガクモン」に迫る質問に。「そもそも勉強ってなぜするの?」の問いかけに、普段あたりまえにやっている(やらされている?)勉強について、言葉にして出し合ってみることで、あらためて考えたり気づくワークショップになりました。(↓↓出されたこと)

一人前になる 人間として。	日本の制度上 必要 やわおえず。	生きていくため に必要なの 勉強	大学に入るため ↓ なりた職業
進路のため 勉強	国がやらせて ひまつぶし。	試験に 受けるため (国家試験)	自分のしたいもの には下地が 必要。
			自分のなぜ にアプローチ 力(述)



【第2部】15:15~16:45/対象：大人 〈参加12名〉

大人たちもカードに書いていくスタイルで、まず「自分が子どもの頃、学校で楽しかったこと、嫌だったこと」を思い出して共有しました。「心の相談員」をした経験もある西上さんは、「本音」とは「音」、子どもが何を話すかその内容もだけど、その子の「声」「音」を聴くようにしています、と教えてくれました。「生の舞台」は演者と観客の間の相互作用によって変化し「コピペできない」もの。みんなが一緒に観る意味。非効率で経済では負けるがしあわせ感では負けない。答えは出ないし出せないけれど、右往左往を共有しながら、子どもの「声」を聴きながら、大昔から続く営みをあきらめずにやっていきたいと思いますと話しました。

〈参加者感想より〉

*『ガクモンの神様』は、ネット依存をテーマにしている、参加されたみなさんと、SNSやネットについて、日頃思っていることを共有しました。そんな中、私としては、他のお母さん方が、SNSの人間関係の難しさやスマホに夢中になっている状況への懸念などを語られていて、「そう感じていたのは私だけじゃないんだな」と思え、共有できたことがうれしかったです。また、SNSやゲームなど「コピペできるもの」と、舞台や歌など「コピペできないもの」があって、それは対極にあり、西上さんが大切にされている、コピペできないものについて、話をうかがうことができました。コピペできない舞台、歌は、文字や活字が生まれる前から、ずっとずっとあったものなんだそうで、西上さんの話を聞きながら、生き残ってきたこれらの文化が、きっとこの先も残るし、人間の根源にも関わっているのではないかと感じました。『ガクモンの神様』は舞台です。観客の様子や反応で変化する舞台です。決してコピペできないものです。私は西上さんのお話を聞いて、この舞台がさらに楽しみになりました。

*自分はこれまでSNS等についてマイナスイメージがほとんどでしたが、今からの社会を生きていく子どもたちにとってプラスになる話も聞き、SNSに限らず親と子本音で話し合うことの大切さを改めて感じました。

*大人のワークの中で、SNS などに対しての心配や不安があって、答えが出せないとしてもお互いの考えを出し合って対話する大切さ、そこに共感してくれる仲間がいることが、子ども劇場だなと感じました。

舞台鑑賞

★2月例会★

2月 低学年・乳幼児例会

『へんてこげきじょう』

人形劇



人形劇団京芸

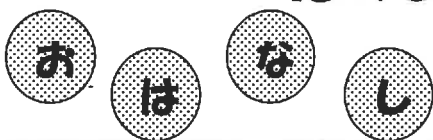
2023年2月11日（土・祝）

15時00分開演（15分前開場）

メルカつきまちホール

へんてこだって面白い、へんてこだから面白い
ちょっとへんてこな3人による、
たのしくゆかいな人形劇。

3作品・50分



おじさんは友達に手紙を書きました。
ポストに入れようと外に出たおじさん、
どんどんへろへろになっていきます。
なんで？どうして？ちょっとシュール、
でも心温まるお話。



モノにはなんでもおなまえあって
おなまえあればおどりだす
なにがなんでもおどりだす
それをあつめておなまえダンス！

作/へんてこげきじょう 監修/長谷川友香
美術/坂下智宏 音楽/石川英雄 編曲/本田真輔

脚色/石川英雄 演出/本倍良 美術/中川生己 音楽/本田真輔



チョコビ先生が始めたのはねずみのための歯医者さん。
でも、最初に来たのはくまさん？次に来たのはペリカンさん！？

困ったけれど、歯のお悩みなら仕方ない。
チョコビ先生の大奮闘を面白楽しく描きます。

子どもたちは大人から見たら理屈が通らなかつたり変わったことをしたりします。でもそれが子どもたちにとって面白いことなのですし、それが個性になっていきます。大人だってちょっと顔を覗かせるその人なりのへんてこさがあって、それがその人の魅力だと思うのです。そんな、一人一人のへんてこを大事にしていきたい、それがこれからの子どもたちへの応援になる、そんな思いでできた作品です。



③

作/中川生己 演出/長谷川友香 美術/神門康子 音楽/本田真輔

舞台鑑賞

★2月例会★

2月 高学年例会

ガクモンの神様

劇団仲間

舞台劇

2023年2月18日(土) 18時30分開演(30分前開場) 平和会館ホール

STORY

学問の神様の息子アミは、YouTube中毒。
怒ったお父さんは、アミを人間界に追放した。
アミが家に帰るためには、ある試練を乗り越えなければならぬ。それは…。
ラジオ番組で子どもたちの質問に答えること！
アミは無事に帰ることが出来るのか？

みんなの「ギモン」に俳優が
そしてみんなが答えます！

CAST

更井孝行 富山早苗 白石ゆうみ

STAFF

脚本	演出	西上寛樹	舞台写真	嶋崎優梨香
	音楽	庄司智一	制作	飛田晃治
	装置	斎藤博之	協力	二瓶美江
	振付	吉田委世		



～あなたの「ふしぎ」を
おしえてください～

観て 感じて
参加する！
アクティブ演劇体験！

上演時間・・1時間25分



MESSAGE

本作は、お話の内容よりも「円形舞台」というスタイルからスタートした作品です。

私たちは、「今、子ども達が生の舞台芸術に触れる意味」を考える中で、アニメやゲームなどのバーチャルな世界との対比はもちろん、劇場ではなく体育館だからこそ可能な演劇体験とは何かを常に意識しました。

「役者の息遣いが感じられる距離感」「みんなで一緒に観るからこそ発見」。

円形舞台という最も原始的な舞台のスタイルは、小学校の体育館と相性抜群でした。そして物語の題材には「You Tube」を選びました。今、最もホットな問題を演劇化したかったからです。

どれだけ便利な時代になっても子どもたちの旺盛な好奇心は変わりません。

最後の質問コーナーでどんな質問が飛び出するか、毎回ワクワクしています。

脚本・演出/西上寛樹

次回例会

低
高
合
同

こまのたけちゃん
あそぶあそび！



2023・5・13(土) 15:00
メルカつきまちホール

クリスマス会

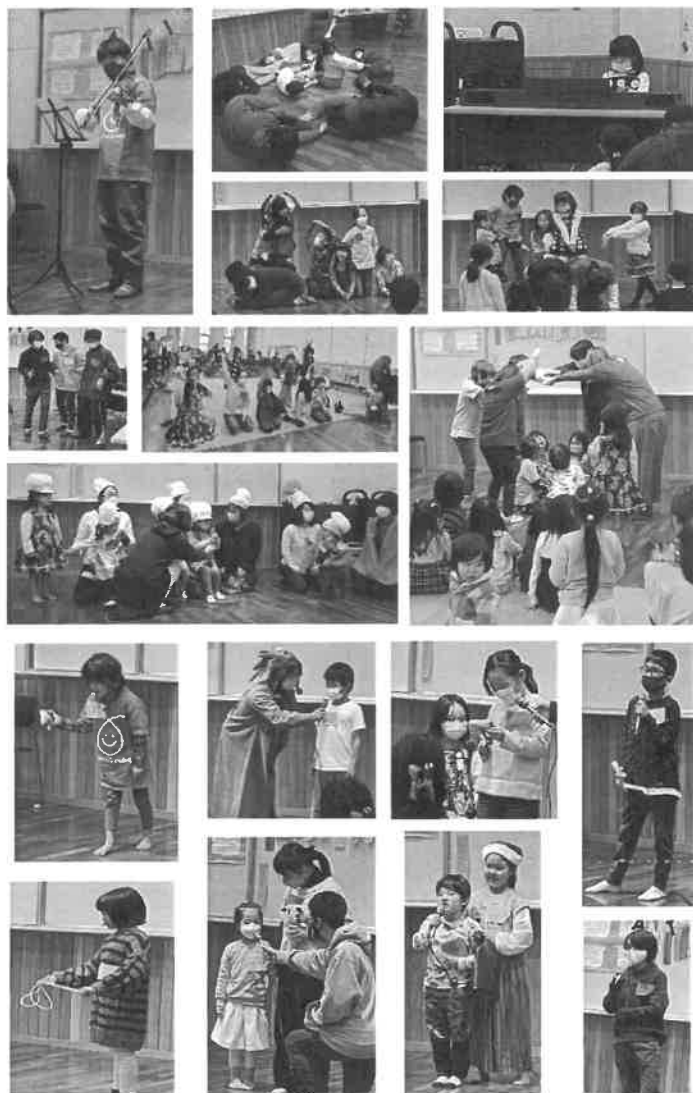


12月18日(日) 13時半～ 市立図書館・新興善メモリアルホール

参加者 65名 (3歳未満 7名、3歳以上 29名、大人 29名)

プログラム

- ①うた あわてんぼうのサンタクロース
- ②みんなの出し物
 - 1 ピアノ(青い鳥)
 - 2 コマ回し
 - 3 マジック
 - 4 寿限無
 - 5 けん玉
 - 6 マジック
 - 7 クイズ
 - 8 けん玉対決
 - 9 わらべうた(クッキー)
 - 10 クリスマスパティー(長与ブロック)
 - 11 側転
 - 12 歌(新時代)
 - 13 バイオリン(情熱大陸)
 - ピアノ(英雄ポロネーズ)
- ③表現遊び 何の動物?
- ④ゲーム フルーツバスケット
- ⑤クジ
- ⑥お菓子のつかみ取り



朝起きると雪景色の長崎

みんなの参加が心配でしたが、無事に開催することができました。

出し物では中学生トリオが司会進行、感想を入れながら、小さい子が参加できるクイズを途中ではさんだり、みんなの好きな歌を歌ってくれたり上手でした。

長与ブロックの組体操では、クリスマスにちなんだ物をみんなで作り上げ、練習を重ね楽しんでやっている様子が伝わってきました。

クッキーのわらべうたもホッコリしました。

初めて参加の子も、いつも参加の子も、会場の横の階段で遊んでいた子も、みんなが楽しい時間を過ごせたなら最高です。

杉本幸子

出前サンタ

2023.12.24

今年の出前サンタは、初参加の高校生2人、青年1人が加わり、計9人といつもよりは人数の少ない出前サンタとなりましたが、3人の3チームにわかれ、なんとか11軒のお宅を回り切りました。

今年は初めての出前サンタだったので緊張しました。

そう言う時に限って田口さんが、道間違えたり、家が分からなかったりして、アクシデントが相次いで起こったのでこっちが逆に冷静になって田口さんをサポートできたかなと思います。

やっぱりサンタよりトナカイやりたかったなと思いますけど、子ども達が喜んでくれたらそれだけで充分良かったなと思います。

昔、自分も出前サンタを楽しみにして待っていたことを思い出しました。やっている側はこんな感じなのですね、今年は打ち上げとかもなかったみたいでそそくさと帰って「もう終わりか」、ってちょっと物足りなかったので来年は打ち上げがあることを期待しておきます。

與那城 滋尊

今までは受け取る立場だったのですが、今回初めて渡す立場になりました。初めての青年サンタは少し心配なことがあったのですが、一緒に行ってくれた田口さんやしげちゃんのおかげで楽しむことができました。みんなもらうときに笑顔になってくれたので嬉しかったです。

秀島 弘兼

私も2回目の出前サンタでまだ慣れているとは言えないし、前回いた青年2人が不参加だったから緊張したけれど、楽しかったです。車の中で聞こえる微かなクリスマスソングが、笑いを誘ってきました。ほかのグループには初参加の子だけのグループもあったので自分たちよく頑張ったなとほめてあげたいです^^
まりなのくれた日向夏の差し入れは無事兄に食べられてしまいました(泣)

與那城 雪



ベテランチーム



ビギナーチーム



発展達上チーム



「オズのまほうつかい」感想交流会

12月18日(日) 11:00~12:00 新興善メモリアルホール

もともと例会の2日後の12月4日に予定されていましたが、例会が延期されたことでこちらも延期になり、少し時間が経ってからの開催になりました。しかも当日は寒波に襲われ、朝起きてみると一面の雪！安全第一での参加で、当初の予定より少なくなりましたが、作品への思いを出し合う楽しい時間を過ごしました。

<幼児の部>

参加は年中の女の子3人、乳幼児部から会員のみとちゃん・なほちゃん、そして初参加のさえちゃん。それにそのお母さん2人。始まりから終わりまでストーリーを思い出しながら感想を言い合いました。公演から2週間たっているというのに次から次へと登場人物やキャラクター、きれいだったシーンやこわかったシーン「なぜ?」「どうして?」などの疑問もたくさん話してくれ、目の前にもう一度舞台が広がるような時間でした。細部までよく覚えているなーと驚きました。(進行者)

「みんなでここにしようよ。僕たちがドロシーの家族になるよ」とブリキ、カカシ、ライオンが家に帰れないドロシーを慰めようと言った思いやりのある言葉に対して、それでも帰りたいと思っているドロシーの葛藤に、娘も心を寄せているのが表情から感じ取れた気がします。(親)

<小学生以上の部>

小学生以上の子ども参加は小学生4人、中学生1人でした。まずはどんな登場人物がいたかを出し合い、その中で自分が気になった人物をカードに書いてその理由を聞いてみました。

ドロシーを挙げた子からは「絶望的な状況でも諦めずに努力していたから」「魔女にもいやだと言う勇気があるから」西の魔女は「ドロシーの物を盗もうとしていたから嫌い」ブリキは「自分と似ている」「やさしい」など気に入った子が多かったです。

次にあらすじを書いたカードを話の順番に並び替えてストーリーを確認し、どの場面が心に残ったかを出してもらいました。

「大カラスに襲われたりしたのにさいご大カラスたちに助けてもらったのに感動した」「西の魔女は、あんなにいばっていたのにくそ弱かった」「薬が1滴ずつへっていったって飲もうとして、鏡を見て父さんと母さんは自分の中にあることを思い出さなかったところ」「おじさんとおばさんが最初について、ドロシーが家にいた所がゆたかで、きついの顔に出さないのいい」など、2週間近く時間が経っていたのに、子どもたちがしっかりと作品を捉えていて、自分の考えを言えるのにビックリしました。

中学生で参加してくれたH君は小学生の時は「こういうのは得意じゃない」と言って、なかなか感想を言えなかったり、他の子を気にしたりしていましたが、今回は小学生が困っていたら「〇〇じゃない?」と助けたり、しっかりと自分の意見を話したりと、その成長に驚きました。

<大人の部>

まずは、親目線で子どもの反応を報告しあった後、自分が心に残った場面を話しました。カンザスの竜巻の風の表現、オズへ向かって歩く描写、お花畑の鮮やかさ、魔女の顔が紙、薬が落ちるしずく等、舞台表現の素晴らしさを語りました。内容も、ドロシーが薬(毒)を飲んで両親のところに行くか葛藤するところ、犬のトトが最後に気球に乗らないのはドロシーを思っている行動なのか?魔女が持っていた猿を操る金の帽子を、私は子どもに使っていないか...、などそれぞれの視点から、思ってもみなかった考えが出てきて、話はどんどん広がり、楽しかったです。



乳幼児部 クッキー

クッキーひろば

毎月1回日曜日 10:30~14:00

上長崎地区ふれあいセンター

※日程など変わる場合もあります。

事務局にご確認ください。

* 12/18 (日) クリスマス会参加

毎年恒例のクッキーの出し物、今年のテーマはわらべうた♪

子どもたちが綿毛の付いた白帽子を被って登場！タンポポ綿毛に見えたかな？

♪タンポポ、タンポポ、むこう山へと〜んでけ〜♪

「にんどころ」は子どもの成長を願ってやる顔あそび

初めての人も久しぶりの人も時々、わらべうたで遊んでみてください。

今年のクッキーは1才児さんが多くお昼寝タイムだったり走り出したりみんな自由。

事前に練習する時間がなかったのが即興でのお披露目となりましたが、前に出るだけでOKの温かい雰囲気でした。来年は成長したクッキーさんをお楽しみに!!



* 1/15 (日) クッキーひろば

寒さやコロナの影響もあり全員参加が難しい乳幼児さんたち。この日も体調不良のため参加親子が1組だけとなり、元乳幼児部の子たちをつれて遊びに来てくれました

予定していた年の初めの福笑いは持ち越しとし、外の公園遊びと室内での積み木カプラ製作の自由遊びとなりました。幼稚園児と小学生が時間をかけて作ったカプラのドミノ倒しはなかなかの出来ばえで欠席の親子にも動画を送って見てもらいました。みんな早く元気になってね♡



年末にクッキーメンバーのお引越して寂しいお知らせがありました
が、会員の出産の嬉しい便りもあり、心弾む春になりそうです❀



ひろせさんの 絵本のとびら

みなさんに出会ってほしい絵本、知ってほしい絵本の話を紹介していただきます**

長崎でも雪が降って寒い日が続きました。それでも季節は着実に春に向かっていきます。
我が家の庭にも水仙が咲きあたりにより香りが…。近所の家ネコヤナギもふくらんできました。
目を凝らせば春の訪れを感じさせるものがあちこちにありますね。
春の訪れを感じさせてくれる絵本、春に一步踏み出す人を応援する絵本をご紹介します。

◆『さくららら』 升井純子 文 小寺卓也 写真 アリス館

春と言えば桜。桜が咲くのを心待ちにしている人も多いでしょう。長崎では3月末に開花すること多いですが、この写真絵本の桜は5月に咲くのです。ほら、桜のおしゃべりが聞こえてきますよ。

「こんもりとした 雪のなか わたしは いるよ」

北海道北部の日本で最も遅く開花する桜が主人公。まだ雪が残る4月からゆっくりゆっくり準備をしていて、ようやく5月に開花するのです。

「わたしがさく日は わたしがきめる」

九州や本州の桜がどんなに早く咲いたってわたしはわたし。きっぱりとした桜の言葉が勇気をくれます。

納得のいく写真が撮れるまで7年もかかったという力作です。北海道の桜に思いを馳せてみてはいかが？



◆『はなをくんくん』

ルース・クラウド 文 マーク・シーモント 絵 きじまはじめ 訳 福音館書店

1967年に出版されたロングセラー絵本。冬の森の中、雪の下で冬眠していたどうぶつたち — 野ねずみ、くま、小さなカタツムリ…が次々目を覚まし、はなをくんくんさせています。はなをくんくんさせながら雪の中を走っていった先には…

「ゆきのなかにははながひとつさいてるぞ！」

まっしろな雪のなかにきれいな花がひとつ。だれもが顔を寄せ合ってうっとりと見つめています。それからどうぶつたちは笑って踊って大喜び。

春を待つ気持ちは同じなんです。

◆『はじまりの日』 ボブ・ディラン 作 ポール・ロジャーズ 絵 アーサー・ビナード 訳 岩崎書店

ボブ・ディランが息子のためにつくった歌「Forever Young」をもとにした絵本。息子への熱い思いが込められたメッセージ。それが「はじまりの日」と訳され、新しい一歩を踏み出す人へのエールにもなっています。

くり返される「毎日が きみの はじまりの日」に励まされます。そう、どんなことがあっても、「きょうも あしたも あたらしい きみの はじまりの日」です。

卒業、進学、就職、転職…新しいスタートを切る人にも、そうでない人にも、ぜひ手に取ってほしい絵本です。元氣と勇氣がもらえますよ。



第1回 GW.C（劇場ワールドカップ） フットサル大会



2023.1.29（日）参加者 20 名 応援 9 名



差し入れは参加賞に



優勝！

Cチーム賞状授与



みんなで楽しく
できてよかった
です。また
やりましょう！

実行委員長



高校生の K 君のやりたい事が形になった GWC。実行委員長としていろいろなことを考え当日はめいっばい楽しんでいました。久しぶりに何も考えず体を動かした日でした。みんなが「楽しかった！！」と大満足でした。企画した K 君がひとまわり成長したと感じました。企画してくれてありがとう！

<編集後記>

朝ドラ「舞いあがれ！」が好評のようだ。五島も物語の大きな役割も果たし、ナレーションもさだまさしさんとくればますます親近感もわく。1990 年代からの物語。面白いのは電話→ガラケー→スマホと時代とともに変化していく。でも、時代が変わっても子どもの笑顔は変わらないでほしいと思うこの頃です。

